

男女共同参画社会をつくる ～男女共同参画に関するQ&A～

Q53 世界経済フォーラムが「ジェンダー・ギャップ指数2018」を公表しその中の、国における男女格差を測るジェンダー・ギャップ指数を教えてください。

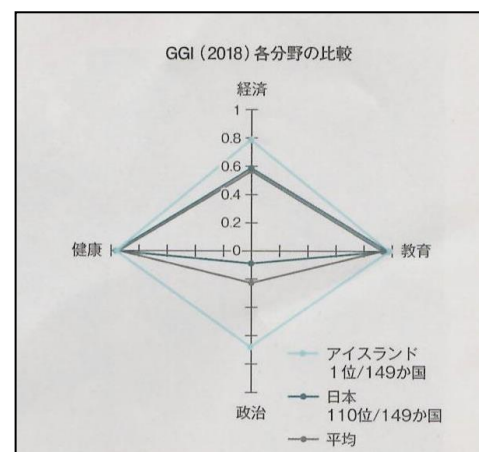
A53 ジェンダー・ギャップ指数は経済、教育、健康、政治の4つの分野のデータから作成され、0が完全不平等、1が完全平等を意味しています。2018年の日本の総合スコアは**0.662**、順位は**149か国中110位**（前年は144か国中114位）でした。各分野におけるスコアと順位は、次のとおりです。

経済分野：0.595（117位） ←0.580
教育分野：0.994（65位） ←0.991
健康分野：0.979（41位） ←0.980
政治分野：0.081（125位） ←0.078

2017年に比べ、経済分野のスコアが大きく上昇しており、これは、労働参加率の男女比や同一労働における賃金の男女格差などが改善したことが要因です。

ジェンダー・ギャップ指数(2018)
上位国及び主な国の順位

順位	国名	値
1	アイスランド	0.858
2	ノルウェー	0.835
3	スウェーデン	0.822
4	フィンランド	0.821
5	ニカラグア	0.809
6	ルワンダ	0.804
7	ニュージーランド	0.801
8	フィリピン	0.799
9	アイルランド	0.796
10	ナミビア	0.789
12	フランス	0.779
14	ドイツ	0.776
15	英国	0.774
16	カナダ	0.771
51	アメリカ	0.720
70	イタリア	0.706
75	ロシア	0.701
103	中国	0.673
110	日本	0.662
115	韓国	0.657



Q 5 4 平成30年度「家族の日フォーラム」が開催されたと聞き、どのような取り組みか知りたい。

A 5 4 内閣府では、平成30年度は、11月第3日曜日を「家族の日」、その前後各1週間を「家族の週間」と定め、子育てを支える家族や地域の大切さ等についての理解促進を図っています。平成30年度は11月18日に宮崎県宮崎市において、家族の日フォーラムを開催しました。

基調講演

基調講演では、東北大学、加齢医学研究所 機能画像医学研究分野教授の瀧 靖之氏より「子どもたちの健やかな成長のために～子どもの才能を引き出す家族の会話とは～」と題してご講演いただきました。瀧教授は脳の発達や加齢のメカニズムを解明する研究者として活躍されており、講演では、子供の脳の発達と能力開発について研究結果を元に解説され、特に、運動や楽器演奏が子供の健やかな脳の発達を促進するとお話をされました。

また、子供の知的好奇心を育てるコツとしては、図鑑等で仮想と現実を結び付けることや様々なことに触れてみることのほか、何よりも保護者が率先して仕事や趣味等を楽しんでいる姿を見せることが大切だと強調され、会場ではお子様連れの保護者の方が熱心にメモを取る姿が見られました。

キャラクターショー

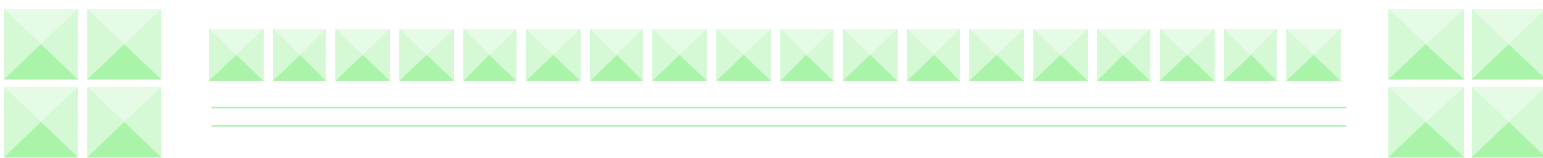
続いて、宮崎県のご当地ヒーロー「天尊降臨ヒムカイザー」が登場し、子供たちに向けて「家族の日」にちなんだクイズショーを行い、会場が一体となって盛り上がりました。

トークショー

次に、映画「かぞくいろ」監督・吉田康弘氏による「家族をテーマにした作品を撮る、映画監督になるまで」と題したトークショーを行いました。

初めに、映画監督を志したきっかけや夢を叶えるまでのエピソードを披露された後、過去に手がけられた映画を映像で振り返りながら、作品で描かれている家族の絆や、子供の夢を後押しするために家族ができること等についてお話をされました。

また、トークショーの最後では、監督から会場の子供たちに向けて将来の夢を質問し、監督から応援のメッセージが贈られました。



クロストークセッション

最後に瀧教授と吉田監督に再び登壇いただき、「夢を叶えるために～子どもたちに伝えたいこと～」と題して本日のまとめとして対談いただきました。お二人のお話に共通することとして、子供たちが夢を叶えるためにも、まず家族や周りの大人たちが生き生きと毎日を楽しんで生きること、その姿を子供たちに見せることが大切だという点を挙げられ、満場の拍手とともに閉会となりました。

出所 内閣府男女共同参画局

2019年1月

